ブラジル朝日新聞
(舊日伯新聞)
伯國聖市マエストロカルヂン街一一〇九
ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミルレイス
外國郵稅共百廿ミルレイス

Sr. Kobayashi Midori
R. Galvão Bueno, 407

第七十六帝國議會 新體制下初の召集 來る十二月廿四日に決定

（東京八日同盟） 政黨政治が名實共に消滅して新政治體制議會は八日の定例閣議において來る十二月廿四日召集と決定、直ちに詔書公布の手續きをとることゝなし、廿六日に開院式擧行、廿七日成立の豫定

善隣友好の大旆揭げ 東亞新秩序建設へ驀進 東京懇談會華々しく開幕

【東京八日同盟】紀元二千六百年式典を擧行されるよき秋、東京市主催の新東亞建設東京懇談會は內閣祝典事務局、對滿事務局、內閣情報部、興亞院、陸海外務拓務各省後援のもとに八日から二日間に亘つて日比谷公會堂で開催、日滿華三國官民代表および中南、北米、南洋の在外邦人代表一千餘名參加、異民族の善隣友好、共同防共、經濟および文化の提携など重要課題について意見の交換發表をなし、東亞新秩序建設の完遂を期することになつた

懇談會參加者は滿洲國より李交通部大臣はじめ官民關係者百五十名、開拓士および義勇軍代表百七十名、中華民國よりは國民政府農鑛部長趙毓松華北政務委員冷家驥、同情報局長林文龍、蔡南京特別市長張武漢特別市長を中心に政府各省各都市代表百七十名、その他在外邦人代表八十名ならびに國內關係各方面代表者などで第一日の八日は午後一時挨拶、松永東京市會議長の歡迎の辭、滿洲國代表李交通部大臣および中華民國代表冷華北政務委員會委員の挨拶についで首相代理久富翼贊會宣傳部長、松岡外相、秋田拓相、局長林文龍、蔡南京特別市長柳川興亞院總務長官、阮滿洲國大使、汪國民政府主席代理趙毓松の祝辭があつて式を閉じ、同二時半から懇談會を開き、興亞院團體聯合會顧問水野錄太郎氏を座長に蒙古聯合自治政府治安部長丁其昌ら七名を副座長に推し、八田日本商工會議所會頭より日滿華經濟提携と新東亞建設について挨拶、國民政府宣傳部指導司長郭復峯より民族の善隣友好について、韓滿洲國中央銀行總裁の講演があり、同四時四十分盛會裡に第一日を終了、なほ同五時半から帝國ホテルおよび第一ホテルで滿華參加者の特別懇談會があり、また日比谷公會堂では歡迎講演會が催さ

同日黑雅叙園の外務大臣招待會に臨む豫定

【東京八日同盟】アジア主義月刊雜誌櫻井周化人、大政翼贊會宣傳部長久富四時四十分開會式ならびに懇談會を終了、引き續き五時三十分から日比谷公會堂で歡迎講演會が催され、華北政務委員會委員林文龍、滿洲國の祭典」を鑑賞して同十時過熱河省長王允卿、中華民國大使一雄、天津居留民團長臼井忠雄の諸氏が新東亞建設の熱辯を振ひ、つゞいて映畫「民族盛會裡に散會した、なほ大會

日滿華各代表 大東亞目指し進軍 日比谷公會堂で講演

【東京八日同盟】新東亞建設東京懇談會第一日八日は午後四時四十分開會式ならびに懇談會を終了、引き續き五時三十分から日比谷公會堂で歡迎講演會が催され、華北政務委員會委員林文龍、滿洲國の祭典」を鑑賞して同十時過熱河省長王允卿、中華民國大盛會裡に散會した、なほ大會第二日九日は午前九時三十分から日比谷公會堂で開會され日滿華代表六氏の講演があつて大會を終了、夜は參加者一

國民貯蓄好調 半年で六十三億增加

【東京八日同盟】國民貯蓄奬勵局發表によれば本年四月廿四日から丸月までの六ケ月の貯蓄增加高は六十三億六千万圓に上り、前年同期の增加高に比し十四億五千四百萬圓增加である

荒天下に從横無盡 獨機快速の猛爆擊 商船擊沈に全力注ぐ

【ロンドン七日同盟】英空軍は六日サウンプトンに對し久方振りの猛爆擊を行ひ、さらに同夜ロンドンに大擧空襲しつゝ空爆を繼續、重要軍事目標北へと獨逸爆擊機の編隊は中戰で英機三機を撃墜したほかロンドン上空を猛烈な爆音をたて曉方まで低空飛行し、爆彈並に照明彈多數を投下した一方フランス海岸の獨軍長距離砲は六日夜ドーバー港に集中砲撃を加へた

【ベルリン七日同盟】獨空軍は悪天候を冒し七日もロンドン空爆を繼續、重要軍事目標に有効な爆撃を加へたが、空撃を與へて航行不能に陥らしめ、ノーリッチ東北を航行中にあつた商船二隻に大損害を蒙つて同樣航行不能に陥るなど獨空軍の海上の輸送船團の攻撃では六隻に損害を與へ內二隻に火災を起

大都市聯盟大會 第二日

【東京八日同盟】東亞大都市聯盟大會第二日は八日午前十時から東京市會議事堂に開かれ、第一日に引き續き議事に入り

一、市政並に都市情報支援の件（北京特別市、廣東市、釜山市、東京市提出）
イ、一般情報
ロ、經濟情報
ハ、保健、衛生、公益情報
ニ、各種技術の實績
ホ、視察、見學團の交歡
ヘ、孤兒の收容教育
ト、保險衛生特に防疫の連絡

の二議題を審議可決の後、元拓相、元東京市長永田秀次郎氏の講演に入り、最後に縣名古屋市長の閉會の挨拶によつて正午二時にわたる意義深き大會は終了した、なほ內外地參加者は午後一時から日比谷公會堂で開催された新東亞建設東京懇談會に臨んだ

伊軍司令部發表

【ローマ七日同盟】イタリア軍司令部發表

一、エピロス戰線及びピンドス山戰線は引き續き有利に展開してゐる

一、北部カベスチカ及びギリシヤ東北東のプレスカ湖南方において企圖した反擊はわが空軍の猛爆により撃退された

一、イタリア空軍編隊はヤニナ地帶の交通の要衝及びフルリナの停車場を爆撃して交通を遮斷し、さらにエピロス、ピレウス、アルゴストリノ、ペネウス各海軍基地並にコルフ島の軍事施設に猛爆を加へた

一、敵一潛水艦は中部地中海において わが護送船團に對し攻撃し來つたが、護送の快速艇はこれを奇襲撃沈した

一、北部アフリカ戰線においてわが快速部隊はシヂーバラニの東南で五十キロ以上も敵を撃退した

舊郡區域を標準に 一元的實行機關へ 政府、國民行政の徹底化期す

【東京八日同盟】重要國策の遂行と國民行政の徹底を期するため、內務省ではかねて地方廳と町村との中間機關としての現地實行機關設置を計畫、地方局を中心に立案中であつたが、一應これが要綱案を得たので七日開かれた總務長會議に提示、種々意見の交換を行つた、將來大政翼贊會郡支部と密接な關係性を持つものであり、かつ行政を通じて官民一致大政翼贊の實を擧げるのが目的であるだけに當局は各省と事務的折衝を遂げた上これを法制化し可及的速に實現をはかる筈であるが、舊郡區域を標準に一元的實行機關を設置するのが原則となつてゐるので、全國では四百四五十に上り豫算も數百萬圓計上される模樣である

帝國の外交方策 根本的に態度更改 翼贊會總務會で意見一致

【東京八日同盟】各紙所報大政翼贊會定例常任總務會は七日午後二時半より衆議院議長應接室に開會、全常任總務各局長參集、特に東條陸相、橋外務次官（外相代理）も出席してまづ大橋次官よりルーズベルト大統領三選によつて起るアメリカの對外政策、特に對日態度の見透し及び三國同盟締結後の英米ソの對日動向、蘭印問題のその後の經過等に關し詳細なる說明を行ひ、さらに支那事變處理に關する最近の經過について種々說明した、これに對して各常任總務より眞劍なる質疑が行はれ事變關係については主として東條陸相より答辯があつた、結局全常任總務の意見は國內同盟締結の英米ソの對日動態度が決定されなければならぬといふ點に一致し、翼贊會としては全幅的熱意をもつて政府を支援し、基本的外交方策の確立具體化に邁進すべしとの結論に達して午後四時半散會した

徒らに迷ふな デマ風說に「斷」 政府、翼贊運動を强化

【東京八日同盟】政府は最近一部に根據なき風說が行はれ、そのために無用の不安を抱く向きもあり、戰時下國策遂行上に及ぼすべき惡影響大なる翼贊運動を强力に展開する決意をなした

在支半島人を訓練 各地に共勵會結成 總督府いよ〳〵乘出す

【京城八日同盟】朝鮮總督府では在支半島人の精神的指導力者たる精神的訓練を行ふため今回在支半島人をして共勵會（假稱）を各地に結成せしめることゝなり、補助金六万圓を明年度豫算に計上、近く近衛首相も國民の積極的精神發揮を求め、その準備に着手することになつた、この指導機關は北京に聯合會を設立して、北中支に共勵會を設置し、共勵會を結成せしめ、一般指導、青少年指導、職業輔導の三部門に亘つて半島人を

越境行爲實に卅三回 この上は容赦ならぬ タイ國、佛印當局に捻ぢ込む

【バンコック八日同盟】失地回復問題を繞る對佛印關係は依然として緊迫狀態をつゞけてゐるが、タイ政府當局は七日佛印軍の相次ぐ越境行爲に對し左記要旨の抗議を提出した旨發表した

佛印軍のタイ國境侵犯に對しては タイ國政府は佛印當局に對し、再三かゝる侵犯が繰返さるゝ場合は兩國にとり極めて憂慮すべき結果を齎らす旨警告してゐるにもかゝはらず、去る四月以來佛印軍の越境行爲は既に卅三回におよんでゐる

なほタイ陸軍當局では佛印當軍はタイ國領內にさらに越境をつゞけるならば、タイ軍當局としては最早これ以上默視し得ず紛爭は免れ難いと豁

人口問題の研究 全國協議會を開催

【東京八日同盟】戰時人口政策研究のため厚生省人口問題研究所では來る十四、五日の兩日東京に紀元二千六百年記念を開催、內地をはじめ朝鮮、滿洲など外地および滿洲、北支各方面より人口問題の研究者百五十餘名が參集

一、人口問題に關する一般的研究

一、東亞民族に關する研究

一、人口問題より見たる國土計畫に關する研究

一、人口增加および國民資質向上に關する研究

一、人口問題より見たる國民生活の動向に關する研究

などにつき相互に研究結果を發表する

人口問題の研究 全國協議會を開催

【東京八日同盟】戰時人口政策研究のため厚生省人口問題研究所では來る十四、五日の兩日東京に紀元二千六百年記念を開催、內地をはじめ朝鮮、滿洲など外地および滿洲、北支各方面より人口問題の研究者百五十餘名が參集

一、人口問題に關する一般的研究

一、東亞民族に關する研究

一、人口問題より見たる國土計畫に關する研究

一、人口增加および國民資質向上に關する研究

一、人口問題より見たる國民生活の動向に關する研究

などにつき相互に研究結果を發表する

衣食住に科學のメス 滿洲國、厚生科學院を創設

【新京八日同盟】衣食住に科學のメスを振ひ國民生活の實體を極めるため、各方面から設置を要望されてゐた國立厚生科學院はいよ〳〵來年度から誕生することゝなつた、厚生科學院は現在の大陸科學院とともに滿洲國ヶ立研究機關の双璧で公私生活に科學的基礎を與へるもので三年計畫をもつて完成される

大戰の卷添へ 罐詰類滯貨 農林省で善後策

【東京八日同盟】各種水產物罐詰は歐洲大戰の物資により現在その滯貨の處分と今後の對策が問題となつてゐるが、これにつき農林省では大體次の方針をもつて臨む模樣である

一、業者の自主的手段により生產を統制し場合によつては制限を加へること

一、滯貨處分のため新市場の開拓をなし一部は內地消費に振向けること

南支最初の支那銀行 新秩序下に產聲

【廣東七日同盟】新秩序下南支最初の支那銀行として設立準備中だつた廣東省銀行は資本金一千萬圓、八日廣東の同行本店で創立總會を開く

香港、澳門のコレラ下火

【廣東七日同盟】香港、澳門兩地にコレラ發生のため廣東、香港、廣東、澳門間の珠江航行は一時中止されてゐたが、病勢も下火となつたので九日から再開されることゝなつた

宣昌西北方 南津關の戰果

【宣昌七日同盟】宣昌西北南津關占領にあたり六、七兩日の戰果左の通り

蘇死三百、捕三十、鹵獲品小銃六百、迫か兵器彈藥多數

イツクス內相 辭表を提出

【ワシントン七日同盟】イツクス內相は七日ルーズベルト大統領の手許に辭表を提出した

番號	種目	曲目	演奏者
100063	流行歌	蘇州夜曲	霧島昇 渡邊はま子
100063	同	同想兄譜	渡邊はま子
100062	同	乙女の首途	松原操 奥山彩子
100062	同	同追憶の雨	二葉あき子
100068	同	望郷の月	新人！佐塚佐和子
100068	同	旅行く馬車	立花康男
30557	童謠	早起行進曲	高橋貞一
30557	童謠	健兒行進曲	高安誠一
150076 150077	浪花節	白衣の聖母	東家三樂
150071 150072 150073 150074	映畫說明	新妻鏡	東寶映畫
150076	琴曲合奏	四季の夢	中村春代
160081	琴尺八合奏	六段	琴本手摺 尺八上田

Columbia
コロムビアレコード邦樂盤
十月新譜發賣
（十月二十日賣出）

泉詩郎の映畫說明

出たゾ 新人 素晴らしい 佐塚佐和子

旅の感傷譜……「望鄉の月」で彼女は堂々とデビュー

「主婦の友」に連載、物凄い人氣だつた「新妻鏡」は東寶映畫となつてファンに見え今又泉詩郎の力演四枚に亘る長篇

「新妻鏡」

時局に鑑みミス・コロムビアは斷然ベールをかなぐり捨てゝ拳原操にたち歸つて新らしい感激に燃へつゝ唱ふ「乙女の首途」は自ら今までにない素晴しさ

（松原操）

純日本の音樂 依然たる「しぶ味」のよさを持つ 六段 琴と尺八合奏

三樂の浪花節 軍國感激實話 「白衣の聖母」 云ふに云はれぬ浪曲の味 三樂の味

ブラジルまでも人氣をさらつた長谷川一夫と李香蘭は「支那の夜」で第二のヒットを放ち、この主題歌を冒頭に渡邊はま子が一段非の打ち處ない出來を見せた「白蘭の歌」以上の人氣

太平洋戰爭を豫測
英米濠の協約成る
新嘉坡軍港も共同使用か

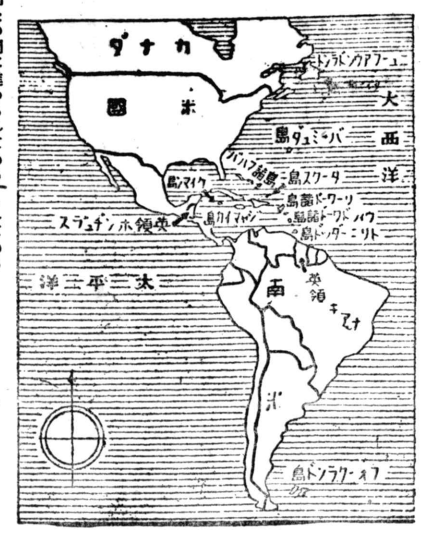
豫告をもつて直ちになされる筈で、詳細内容は發表されないが、今回の取極め中には米海軍による軍艦使用問題も含まれてゐるのではないかといはれる

【ロンドン七日同盟】信ずべき筋よりの情報によれば英米濠非公式會談の結果、三國は太平洋における協力に關し原則的意見の一致を見たといはれる、その最後的決定は緊急事態發生の場合短期間

米、万一の事態に備へ
軍事基地使用に諒解
先づパナマ隣邦と交渉中

（ニューヨーク六日同盟）ワシントン情報によれば米政府は最近中南米諸國に對し西半球防衛に必要と認められる緊急事態が起つた場合、その海軍基地などを使用することにつき交渉の結果その諒解を得た模様である

【ワシントン七日米UP】官邊筋の洩らすところによれば西半球諸國の海空軍基地の相互共同使用について目下米國と米洲各國に交渉が續けられてゐるが、まだ何ら決定的節定に達してゐない、右につき米國側としては軍事基地借用などの擧に出ず萬一非常事態の發生した場合、米洲各國は相互にこれを共同使用に供するもので、その管理權などは勿論當該國の主權下に置くものである、また米國は專門技術家乃至は高射砲等の必要武器を供給して軍事基地防衛を强化する、なほ右交渉は現在のところ特にパナマ運河隣接諸國間との間に進められてゐるとしてゐる


カナダ
米國
大西洋
島ニューファンドランド
島ニューファンドランド
島ダミーパ
島スクーター
島ドワーリ
島ドワーリ
島ドーワード
島ドーワード
島ドーワード

悠久二千六百年

午前あす九時

榮光輝く佳き日！
廿万同胞一齊に慶祝
「聖壽萬歲」を高らかに奉唱

青史遠く二千六百年、國民ひとしく神武天皇御創業の昔を追念し眞大時局下慶祝とともにいよ〳〵聖業翼賛に忠誠を堅むる佳き日はいよいよ明日、この榮光輝く日午前九時は奉祝時間として在伯二十萬同胞は挙つて各家庭或ひはその他の場所で宮城遙拜、聖壽の萬歲を祈願し國運隆昌と武運長久を祈願するが、聖市をはじめ各邦人集團地では聖戰下にふさわしい緊張した奉祝行事が繰りひろげられる、なほ聖市總領事館に於ける奉祝式次は次の通り

聖市の奉祝式々次
一、開會
一、皇居遙拜
一、戰沒將兵に對する默禱
一、總領事代理奉祝辭
一、在留民代表奉祝辭
一、聖壽萬歲三唱
一、閉會

祝賀會

午後二時からピーレス・レノン街七番の母の會々館において例會を開き紅物およびベンフォリア・グ・ノイテ紙八日最終版は本日午後二時卅分サントス・ゾーモン飛行場（リオ）發のパスプ旅客機が離陸間もなくポクフオゴ海岸近一億同胞が萬邦に比類たき嫁たる聖國の歷史をふり仰ぐ紀元二千六百年の佳き年、ブラジル邦人建國奉祝團を率ひて故國を訪れた石原桂造氏は三十年ぶりに見る雄々しくも强大なる母國の姿に感激、昨日東京より左の外き電報を寄せた

我々ブラジル在留日本人代表等は久しぶりに祖國を訪ね官民の絶大なる御親切により心ゆくまで紀元二千六百年を奉祝し日本帝國の强大なる姿に涙して感激す、

バスプ旅客機墜落
乘客十五名慘死す
リオ出發直後の椿事

五四番屋上で、折から飛來し來たシエル・メツクス石油會社の飛行機と衝突墜落し乘客全部（十五名）慘死したと報じてゐる、乘客の氏名その他は詳報なく一切不明である

オヤヂの感激
電波に乘つて
母國の姿に嬉し涙

石原桂造氏

在留邦人各位によろしく
石原桂造

伯國代表
新東亞建設
懇談會に出席

九日東京發同盟電によると、海外同胞の會參加のブラジル代表一同は去る八日から二日間に亘つて日比谷公會堂で開かれた東京市主催の新東亞建設東京懇談會に出席した

海外同胞大會

白服の花賣娘
町の人氣者
プロミツソン女子青年團の手藝品展覽會

ノロ線プロミツソン女子青年團では去一、二の兩日同町カ

試驗放送やり直し
十一日からスイツチの御用意を

日本放送協會では去る十月二日放送の試驗放送を行つたがサツパリ聽えぬといふ成績不良のため、更に來る十一日から左の要項で試驗放送を開始する事となつた

期間 十一月一—二十日
時間（日本時間） 呼出符號 周波數
午前八時—九時半 JZJ 二、八〇〇
午後六時—七時 同 同
午前六時半—七時半 JNI 九、三三三
午前八時—九時半 同 同
午後六時—七時 JZJ 二、八〇〇

輸出向スツックを
市民のお台所へ
リオの生肉饑饉緩和策

經濟保護委員會では六日同委員會本部に協議會を開き最近現在リオ市内の生肉は從來の生肉不足の對策を練つた、

關東丸船員大暴れ
白刃ふるつて船上で大立廻り

去る六日午後十一時頃目下サントス碇泊中の大阪商船「關東丸」船員某が仲間と喧嘩をはじめフアツカを振つて大暴れに暴れ、ようやく大勢で取おさへ手足を縛つて警察へ通知したが、警官の來るのを見るや矢庭に綱をほどいて船内に隱れてしまつた

一同手分けして船内くまなくさがしたが仲々見つからず、やつと船倉にかくれてゐるのを發見警察署へ留置された

× ×

親御さん御注意！
置き忘れたフオルミシーダで
哀れ・幼兒落命

幼兒を持つ親御さんはくれぐれも御注意下さい——

聖市近郊サンタ・イザベル街道のアルジヤー耕地在住越智虎助さんの愛兒生後一年二ケ月になる鐵郎ちやんは家の周りで遊んでゐたが父親が不注意にもフオルミシーダを鍵かけあけた際使つたサヂを置き忘れてゐたのを發見、しやぶつたため、サヂについてゐたフオルミシーダを嚥下窒息し遂に惜句可愛さうに死亡した

「紀元」の起源はいつ頃か
蔭の功勞者 故津田眞道男爵

明治五年十一月十五日改曆の際、太政官布告第三百四十二號で

「今般太陽曆御頒行、神武天皇御即位をもつて紀元と被定候に付其旨を被爲告候ため、來る二十五日御祭典被執行候事」

と紀元決定の旨公布されたことは改曆といふ大事件のためにあまり注意されてゐないがこの問題について當時の刑法官權判事津田眞一郎氏（後の眞道男）が布告より三年前に重要な建議をしたことを知つてゐる人も少い

同氏は德川幕府の第一回留學生として榎本武揚、西周らとともに文久二年オランダに渡り、ライデン大學で法律學を修め歸朝後世界の新知識をもつて維新の建設時代に郡縣制度をはじめ多

2600年
御即位を以て紀元とす」と制定されたのが初めてある

紀元二千六百年の新春はめでたく明けたがこの「紀元」の起源はいつか—明治五年十一月十五日、太政官布告で「神武天皇御即位を以て紀元とす」と制定されたのが初めてある

明治二年四月公議所に「年號を廢し一元を可建の議」を提出

年號は本歲月を紀するために設けたる旁なれ共その弊や一代數號あり煩雜の極遂に年號ばかり聞ては容易に

「紀元」の起源はいつ頃か
蔭の功勞者 故津田眞道男爵

重要な建議

「白菊會」例會

巡市女子青年團「白菊會」では來る十日（日曜日）

「紀元」の起源はいつ頃か
蔭の功勞者 故津田眞道男爵

明治天皇に
王政復古の大號令にも諸事神武御創業の始めに原づかせ給ふ旨仰出され

明治政府が改元と同時に第八十一號の太政官日誌からは表紙に「明治紀元戊辰年秋九月」と書き改めてゐるのも當時維新思想を物語つて面白い、

紀元文の字の明記されたる「太政官日誌」

尋人 高田セチ様に告ぐ

幸子さんが心配の餘り病氣さる、至急歸宅して下さい

アラサツーバ市 高橋

藤木シモ子
母病氣ニ付キ至急住所知ラセ
ソロカバナ線パラグワス驛郵函一一一番
地兎政子
又ハ ソロカバナ線プレシデンテ・プルデンテ驛郵函八一番 川崎宛

市況（八日）

▼アロース 安値 高値
▼アグーリヤ上 六三、〇〇〇 六三、〇〇〇
▼ブランコ〃 五三、〇〇〇 五三、〇〇〇
▼カテ〃 四九、〇〇〇 五〇、〇〇〇
▼フエイジヨン 六〇、〇〇〇 六一、〇〇〇
▼ムラーニヨ上 六〇、〇〇〇 六一、〇〇〇
〃 中 五六、〇〇〇 五九、〇〇〇
▼ミーリヨ 三〇、〇〇〇 三〇、〇〇〇
▼アマリーロ 二〇、〇〇〇 二〇、〇〇〇
▼アマレロン 二〇、〇〇〇 二〇、〇〇〇
▼パタタ ノミナル
▼クリスタル
▼アマレーラ上 六〇、〇〇〇 七〇、〇〇〇
▼ブランコ中 — —
▼マンヂカ粉 三三、〇〇〇 三三、〇〇〇
▼マモナ 六〇〇 六〇〇
▼棉實 三、八〇〇 三、〇〇〇
▼アドイン上 一七、三〇〇 一八、〇〇〇
▼セボーラ 五三、〇〇〇 五六、〇〇〇
▼砂糖 特上 一、〇〇〇 一、〇〇〇
▼フイフード 特上 六六、〇〇〇 六九、〇〇〇
▼クリスタル 上 六三、〇〇〇 六三、〇〇〇
▼小麥 四五〇、〇〇〇 四五〇、〇〇〇
▼珈琲 — —
▼棉花 四三、五〇〇 四四、〇〇〇

野菜部（産組中央出張所調）八日

	安値	高値
▼トマテ特上（箱）	四〇—三〇〇	
▼トマテ上（〃）	三三—三八〇	
▼トマテ中（〃）	三〇—三八〇	
▼レボーリヨ（袋）	一〇—一二〇	
▼エルヴイリヤ（箱）	一〇—一二〇	
▼ピメントン（箱）	一〇—一二〇	
▼ピージエン（箱）	一二—一四〇	
▼ベビーノ（箱）	一二—一四〇	
▼パタタドーセ（俵）	一二—一四〇	
▼ポブリーニヤ（箱）	八四—九〇	
▼セノーラ（束）	一〇—一二〇	
▼コーベフロール	一〇—一二〇	
▼ナス（箱）	三三—三六〇	
▼玉子（打）	三三—三六〇	

告示

來る十一月十日（日曜日）當館（アヴエニーダ・ブリガデイロ・ルイス・アントニオ街四八七番）に於て紀元二千六百年奉祝式を擧行すべきに付參列者は午前八時四十分（時間嚴守）迄に御參集相成度し

右告示す

昭和十五年十一月四日

在サンパウロ日本總領事館

告示

來る十一月十日（日曜日）當館（アヴエニーダ・ブリガデイロ・ルイス・アントニオ街四八七番）に於て紀元二千六百年奉祝式を擧行すべきに付參列者は午前八時四十分（時間嚴守）迄に御參集相成度し

右告示す

昭和十五年十一月四日

在サンパウロ日本總領事館

告示

一、奉祝に際しては爾下の世界情勢に鑑み且つ紀元二千六百年の嚴肅なる意義を體得し類無き我皇室の御聖德を欽仰し奉り聖壽の無窮を壽き奉ると共に一層靈忠報國の精神を昂揚し皇運扶翼の誠を致し帝國臣民としての覺悟を神明に誓ふを念とせらるべし

一、十一月十日午前九時を國民奉祝の時間とし各家庭其の他の場所に於て夫々宮城遙拜を行ふべし

一、奉祝行事を行ふに方り輕佻浮薄に墮せざる樣充分に注意せられたし

右告示す

昭和十五年十一月四日

在サンパウロ日本總領事館

ブランコ大通り中間 コチア道の向側 ロスヴヲン・ロツペス街一七 歯科古澤

求人 石川 電話二二三郵函六〇

譲店 盛業中のキタンダ庭の事情の爲め好條件にて譲り度し 詳細は左記へ Rua Barra Funda, 485

紙函 聖市グリセリオ街四七—四四 長田エストロ製作所 郵函三一〇九番 電話七・二六七四番 電話七・二六七番

CHA RIBEIRA PRETO

魚鮮 坂井兄弟商會 メルカード販賣部 サントス・メルカードパンカ二五番 坂井芳信

Cine Santa Helena Praça da Sé 今日の映畫 來栖駐獨大使の三國同盟調印實寫 ソ芬戰爭實寫 ◇死の偵察（ルリ・デステ主演） 午后二時より連續上映 畫2$000, 1$000, 夜2$500, 1$500

Cine Sta. Helena Praça da Sé 豫告 白蘭の歌（長谷川一夫、李香蘭 共演） 來る十一月十一、十二、十三の三日間 午後二時より連續上映 畫2$000, 1$000 夜2$500, 1$500

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: *José Yamashiro*

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno . . 120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha

Anno I | São Paulo — Sabbado, 9 de Novembro de 1940 | Num. 91

NOTAS E EDITORIAES

Commemorando-se amanhã o 2.600°. anniversario da fundação do Imperio Nipponico e, por uma excepcional coincidencia, o 3°. anniversario da instituição do Estado Novo o "Brasil Asahi" publicará um numero especial dedicado a essas duas gloriosas ephemerides das duas grandes Patrias.

***

Encerram-se amanhã as festividades commemorativas do 10°. anniversario da Revolução Nacional de Outubro e do 3°. do Estado Novo.

***

Em sessão solenne, a Academia Nacional de Medicina recebeu ante-hontem á noite, o seu novo membro honorario, dr. Adhemar de Barros, numa significativa retribuição aos innumeros actos de benemerencia praticados pelo Interventor Paulista no sector medico-social do Estado.

Friml irá compor uma symphonia Joponeza

Los Angeles, EE. UU., Outubro. — O pico envolto de neve do Fujiyama inspirou Rodolf Friml, notavel compositor, que vae iniciar a composição de uma symphonia japoneza.

O snr. Friml contou que, primeiramente, se dirigiu a Shanghai, para escrever um poema symphonico daquella cidade, mas que o tumulto da guerra na China perturbou a sua contemplação, de modo que preferiu ir para o Japão, onde a vida era quieta. O snr. Friml é o compositor das symphonias "Rose Marie" e "O Rei Vagabundo".

Impressos?

Procure a typographia

NIPPAK-SHA

C. P. 375 — Teleph. 7-3325

Novos rumos do Commercio Exterior, da Industria e da Agricultura no Japão

A orientação do Governo

Tokyo, 5 (D.) — Proseguindo nos seus estudos sobre a formação do bloco economico nippo-sino-mandchú, o governo acaba de dar ao publico, a sua orientação relativa aos novos rumos a serem dados ao Commercio Exterior, Industrias em Geral e Agricultura e Floresta. Resume-se no seguinte o communicado dos poderes competentes:

Commercio Exterior:

O novo plano commercial visa a reforma da orientação puramente interesseira até agora seguida, para instituir um commercio internacional perfeitamente de accordo com a nova directriz politica nacional, evitando desse modo, a concurrencia contraproducente.

A exportação e a importação estão sob o dominio de rigorosa fiscalização; porém, os fructos da applicação da economia dirigida sómente serão conseguidos pela intima collaboração entre o povo e o governo.

Industria:

Ao Japão está reservado o desenvolvimento da fabricação de machinarios delicados e ser o lider technico das tres potencias asiaticas.

O Mandchukuo e a China encarregar-se-ão das industrias extrativas de materias primas e aproveitamento das energias electricas.

Para a execução efficiente dessa orientação basica, serão feitas novas e rigorosas investigações.

Comtudo, essa distincção de dominios deve facilitar o emprego das capacidades fabris e não deve em absoluto, incorrer no formalismo esteril.

Assim, houve certa tendencia em reprimir o surto da industria leve no Mandchukuo afim de garantir os mercados nipponicos.

Todovia, fundando no ponto de vista de elevar a capacidade acquisitiva, se á intensificada a fabricação nos respectivos paizes, dos artigos de primeira necessidade.

A remodelação industrial deve visar a formação de um verdadeiro organismo economico pela concretização de um projecto baseado nos altos interesses nippo-sino-mandchús.

Agricultura e Floresta:

Sobre o momentoso caso do augmento da producção de artigos alimenticios, será levado a effeito um plano decennal e a distribuição dos generos indispensaveis será normalizada pelos departamentos competentes.

Dos multiplos problemas agrarios merecerão especial attenção das auctoridades encarregadas, taes como a sericicultura e a pesca que até ha pouco tinha por objectivo a exportação de seus productos.

Para contribuir ás grandiosas obras de fundação da nova ordem asiatica, pelo emprego de systemas racionaes, está sendo completamente reformada a antiga organização agricola.

Todas essas medidas de reconstrucção economica, actualmente estudadas pelas commissões competentes, serão em breve concretizadas em cada um dos secto es da actividade nacional.

O sr. Kobayashi reassumiu o cargo de ministro do Commercio e Industria

Tokyo, 2 (D.) — O ministro das Finanças, snr. Kawada que estava substituindo interinamente o sr. Kobayashi, na pasta do Commercio e Industria, deixou hoje esse cargo provisorio por ter regressado das Indias Hollandezas, o titular effectivo da pasta.

Annuncios efficientes?

Só no "BRASIL ASAHI", jornal de maior circulação na Colonia Nipponica

Tel. 7-3326

SORTEIO MILITAR da classe 1918-1919 sorteada em 1939

A apresentação dos sorteados convocados para incorporações no corrente anno será, para os de 1a. chamada de 13 a 27 de Novembro do corrente anno e para os da 2a. chamada em data a ser designada opportunamente.

Os pontos de concentração dos sorteados ficarão installados no 4°. R. I. IV/2°. R.C.D. e 6°. G.A.D., para os sorteados designados para a 2a. Região e para os de Matto Grosso na 2a. Formação de Intendencia Regional.

Entre os sorteados, encontram-se os seguintes jovens que deverão se apresentar no periodo mencionado:

MUNICIPIO DE ARARAQUARA

Kasuko, filho de Aruno Minesuku; Tinssacki, filho de Sato Kansiro: Tekioma, filho de Irené Sacoito; Tessihiro, filho de Jabu Sadaki: Thosis, filho de Hiroshi Oku; Estes são incorporados á 9a. Região Militar, com quartel em Matto Grosso. Dias de apresentação: 1a. chamada de 15 a 31 de Outubro; 2a. chamada, data a determinar.

2a. chamada

Sakahe, f. de Buzze Nomiama; Hicésito, f. de Kaiso Matsumara; Ushima Herrechi, f. de Ushima Kekutaro; Kasuó, f. de Maeda Tosaki; Rudu, f. de Timbi Takahashi; Yonezo, f. de Tajira Gunzi; Signer, f. de Monaka Tomasabo.

MUNICIPIO DE ARAÇATUBA

1a. chamada

Tsucuno, f. de Tsucuno Kataro; Foiti, f. de Kingiro Moyma,

MUNICIPIO DE AVANHANDAVA

1a. chamada - Matto Grosso Guensaku, f. de Maosaku Egawa;

MUNICIPIO DA CAPITAL

Os sorteados serão incorporados etc . . .

2a. turma - 1a. chamada

Geraldo, f. de Turaziro Kussano;

2a. chamada

Cassoo f. de Miyakava Tosizo;

3a. turma-1a. chamada

Luca, f. de Teriquiti Yoshimura;

MUNICIPIO DE CAFELANDIA

1a. chamada

Elno, f. de Enji Fahiki; Shigueo, f. de Takeo Yonecule; Jossimi, f. de Fatoro Makino;

MUNICIPIO DE CATANDUVA

1a. chamada

Susumo, f. de Outi Takazo; Tadaemi, f. de Uyekiti Yasujiro; Seiti, f. de Tatuzi Iata;

MUNICIPIO DE UCHOA

2a. chamada

Takaxi, f. de Kametero Kameke;

MUNICIPIO DE RIBEIRÃO PRETO

2a. chamada

Urneji, f. de Nobuji Yeto;

MUNICIPIO DE PROMISSÃO

1a. chamada

Mitsuo, f. de Keida Setsugo;

2a. chamada

Ileo, f. de Kensuke Iatmoto; Takashi, f. de Tukuk Lhiroma;

MUNICIPIO DE PRESIDENTE ALVES

1a. chamada

Nasayeski, f. de Eugidis Atadamo; Yoeshnabú, f. de Burocki Schibukava;

MUNICIPIO DE PIRATININGA

1a. chamada

Magamine Ceico, f. de Magami e Tiasque;

MUNICIPIO DE PIRANGI

1a. chamada

Antonio, f. de Egidio Miach;

MUNICIPIO DE PIRAJUHY

Makoto, f. de Kudamita Hidekuite; Arnó, f. de Aiachi Toemon; Kyone, f. de Kioshi Umebar;

MUNICIPIO DE PENNAPOLIS

1a. chamada

Masai, f. de Yasayre Fagata; Kiyota, f. de Setaro Hirata;

MUNICIPIO DE MONTE APRAZIVEL

1a. chamada

Tidem, f. de Matekite Tanaka;

MUNICIPIO DE MATTÃO

2a. chamada

Maruyama, f. de Maruyama Masao;

MUNICIPIO DE MARILIA

1a. chamada

Harno, f. de Massutero Fucatú;

(Continúa)

20°. Anniversario de fundação do Sanctuario MEIJI

Tokyo, 1 (D.) — Commemorando o vigesimo anniversario da fundação do Sanctuario Meiji, onde repousam os espiritos do Imperador Meiji e da Imperatriz Shoken, realizar-se-hoje solennes ceremonias nacionaes.

Coincidindo com os festejos commemorativos do 2.600°. anniversario de fundação do Imperio, as commemorações do Sanctuario Meiji terão excepcional brilho e imponencia e durarão até o proximo dia 4.

Pontos culminantes da Historia do Japão

Senichi Hisamatsu

Por varias gerações, seguindo a descendencia, de Takamano hara até Takachiho, o Principe Ninigi, neto de Amaterasu-O-Mikami (divina fundadora do Japão), o paiz era dirigido de Hyuga, provincia onde se encontrava Takachiho. O então Principe Iware-hiko, depois Jinmu Tennô, deixou Hyuga em procura de um local que servisse melhor como séde do Imperio. Depois de subjugar todos os chefes e todas as tribus do caminho, elle estabeleceu a capital em Kashiwara, na provincia de Yamato e ascendeu ao throno como o primeiro Imperador, Jinmu Tennô. Na vespera de sua ascensão, elle expediu um edito proclamando a sua intenção de governar a nação com o mesmo espirito com que Amaterasu-O-Mikami havia fundado o paiz. Este espirito, no qual nosso Imperio foi fundado, partiu da convicção de que, governado por uma linha de Imperadores descendentes de seu fundador divino, nosso Imperio duraria para sempre, e tem sido mantido vivo atravez toda a nossa historia nacional até os nossos dias.

Após o estabelecimento, por Jinmu Tennô, de um Estado com Yamato como centro, o paiz se tornou bem desenvolvido sob a guia e auctoridade Imperiaes, e uma cultura nacional propria appareceu e floresceu. No anno 88 A. C., durante o reinado do X Imperador, Sujin Tennô, quatro militares governadores-geraes, chamados *Shidô-shogun*, foram escolhidos e enviados a quatro das regiões maiores em redor da capital; assim, sob Keikô Tennô, XII Imperador, o Principe Yamato-Takeru foi enviado duas vezes em missões para submetter ao dominio Imperial a tribu Kumaso, do Japão occidental (97 da Era Christan), e a tribu Emishi, a leste (110 A. D.). Agora, no anno 200 da Era Christan, Jingu Kogô, Imperatriz Consorte de Chuai Tennô, inspirada por um oraculo divino, atravessou as aguas em direcção á peninsula kareana e conquistou o reino de Shiragi, de tem do fazendo ser sentida a influencia do Japão além-mar. Foi ella tambem quem preparou o caminho para a introducção subsequente da cultura chineza e do Buddhismo, com o resultado de que as civilizações da India e da China foram convenientemente assimiladas pela cultura espiritual indigena do Japão. O Principe Shotoku, regente de Suiko Tennô (que reinou de 593 a 628), dispensou muita importancia ao Buddhismo, nunca tendo pupado, comtudo, esforços no sentido de o harmonizar com o espirito nativo do Japão que elle considerava como o verdadeiro fundamento nacional. A grande Reforma da era Taika (645-649) consistiu exteriormente, na adopção da cultura chineza do periodo T'ang, porém, na sua essencia, estava baseada no espirito nacional de nossa propria raça.

Continúa

Do Mundo

(Sebino dima serie)

Agora, a nossa nisei arranjou um outro namorado, tambem nisei.

Nem sabem onde vão parar, mas é toda delle. Elle falla o japonez mais do que ella. Estudam no mesmo curso nocturno, na mesma classe.

Um dia ella contou: - "Nós estamos nos entendendo muito bem, porque o 'Bonitinho' tambem tem costumes brasileiros. E nós só conversamos em portuguez, apesar de, em certos momentos, elle querer fallar em japonez". Havia briguinhas, mas ella não contou.

Outra noite aconteceu uma coisa engraçada. Os dois deram de ir a uma festa. Era mais propriamente uma coisa feia. Foram a um baile. Si bailaram ou si se divertiam muito, não sei. O facto é que ella foi sahindo de madrugada, quando a tal de festa havia terminado, sozinha, e sentindo um frio de tremer toda. Foi andando com fome pelas ruas geladas, na madrugada garoenta, o bonde não vinha...

Acontece agora que ella não sabe o que está se passando com elle. Elle sahe correndo da escola, não lhe falla, não conversa não a cumprimenta, nem faz um gesto para a acompahnar. Está indifferente. Ella fica sem comprehender como o mundo póde ser assim. — *M.*

Raios de Luz

"Vim para agradecel-o", disse, "e receber a minha mó de pedra. Quando soube que a guerra estava se approximando, com o meu filho fugi para um logar chamado Hsinchwang onde estive até hoje. Passei por grandes privações e esperava encontrar a minha casa destruida e a mobilia desapparecida. Quando voltei e encontrei a mobilia intacta e a sua polida mensagem acerca do meu burro e da mó de pedra, fiquei tão grato que não pude deixar de chorar. Agora vou recomeçar o negocio. Tenho um filho forte de modo que não preciso do burro e lhe faço presente. "O nosso "Cavallo Castanho" ficou contente ao ouvir isto e mandou Narazuké por a mó de pedra no rickshaw, depois do que mostrou o papel vermelho, que elle guardera para mostrar ao velho Arregalou os olhos como se não pudesse comprehender, dizendo "O que é isso?" "Encontramos isso em sua casa", respondeu Yamada.

"Ah, meu filho trouxe para casa uma porção desses papeis; pensei que elles servissem para embrulhar TOFU".

Dizendo que nos ficava muito agradecido pelo emprestimo do rickshaw, foi-se, parecendo intrigado, mas muito feliz.

Yamada ficou de crista cahida pois ficára prelibando o gozo de interrogar o homem. "O seu filho é que deve ser o verdadeiro agitador anti-nipponico", disse e foi-se para perto do burro, acariciando o seu focinho e murmurando: "Sob os meus cuidados você engordou e agora será o meu corcel nos exercicios de cavallaria".

Estiveramos de guarda á bandeira do regimento e voltamos ao nosso alojamento na manhã de seis. Depois do jantar fui á casa de banho com tres soldados. Quando chegamos á rua principal ficamos surpresos e encantados em encontral-a brilhantemente illuminada, com luz electrica, e ficamos parados admirando uma vista tão rara. Não havia ninguem por perto, mas muitas das casas estavam illuminadas por dentro. A casa de banho estava illuminada e na volta soubemos que a energia só era fornecida a algumas partes da cidade. Yamamoto, que é electricista amador, logo descobriu meios de illuminar nosso alojamento e quando cheguei lá ouvi um ruido como se alguem estivesse lidando com um radio. Kawahara encontrara o apparelho logo depois que lera no jornal local que a luz electrica seria restabelecida. Fizera negocio com um proprietario de casa de moveis e trocou-o por uma caixa de cigarros. Ikuno incumbiu-se de ligar e ouvimos toda especie de musica chineza. Finalmente conseguimos noticias japonezas de Taihoku, na Formosa, a que se seguiram canções. A recepção não era muito boa e havia muita estatica. Ikuno ligou para Keijô e muitos outros logares. Yamamoto subiu no telhado e collocou uma antena. Depois ouvimos uma voz agradavel dizer: "JOSK, Kokura", e eu me approximei do apparelho a tempo de ouvir o speaker dizer: "Está é a estação Kokura, JOSK, JOSK Felicidades a todos e boa noite!" Repeti as palavras do speaker varias vezes e fiquei com os olhos humidos.

Flor e Soldados

(HANA TO HEITAI)

ROMANCE 16 Ashihei Hino

No setimo dia de janeiro uma cerimonia foi realizada no Campo Nacional de Treinamento Physico como preito ás cinzas dos guerreiros fallecidos. Como chegassemos antes da hora, entramos em uma casa e fizemos fogo. O céo estava nublado e esperavamos chuva ou granizos a qualquer momento. Quando todas as unidades tinham se reunido formamo-nos diante do altar, no qual as caixas contendo as cinzas haviam sido collocadas, adornadas de flores e de offerendas varias como de velas accesas e incenso, longas tiras de pano pendiam e nas quaes estavam escriptas mensagens de condolencia ás unidades que tinham perdido os seus camaradas.

Os padres encarregados da cerimonia estavam paramentados de roupas douradas e o Private Fujita estava lá com a sua roupa vermelha. Apresentamos armas e as cornetas tocaram em notas tremulas o "Ultimo Posto".

Quando voltavamos para os alojamentos encontrei Fujita marchando perto de mim e disse-lhe que devia vir e conhecer o padre do templo atraz do nosso alojamento. "Contei áquelle padre", disse, "que és tão grande quanto Bonzo Kobô de modo que tens uma reputação a sustentar".

"Não brinque", respondeu, "Eu quero conhecel-o pois gostaria de aprender alguma cousa da religião chineza".

Gostava muito desse soldado-padre, franco, que sempre dizia que elle não passava de um bonzo peccador. Quando o vi pela primeira vez, na sala de espera do recrutamento, no Japão, não pude localisal-o e me perguntava qual era a sua profissão. Naquella epoca estava usando um Kimono feito de georgette preto e uma sacola de crepe de seda expessa e exhibia um bigode vistoso. Estava sentado abrindo e fechando o seu leque e pelos seus modos tive a impressão que fosse um artista ou um jogador. Quando a unidade foi formada elle foi alojado em um templo. Foi uma coincidencia, talvez relacionada com seu Kharma, pois transpirou que era o templo em que estudara quando jovem padre. Ha uns quinze annos elle arrombara o cofre de esmolas e fugira e estivera de paradeiro ignorado até a epoca em que fôra convocado ás fileiras. Deve ter sido embaraçoso para elle ser acantonado naquelle logar. Costumava vel-o jogar GO com seu velho mestre e a quem sempre conseguia vencer nesse jogo. Elle não tinha nem um pouco de modestia e dizia ao velho mestre: "O que é que tem feito comsigo? Deve estar tirando uma boa somneca depois do almoço". Mas eu percebia que havia os maiores laços de affeição entre o antigo alumno e o mestre.

Quando cheguei ao alojamento vi que reforços haviam chegado para substituir os que tinhamos perdido. Nosso pelotão recebeu quinze ou dezesseis substitutos e eu dois novos homens — Tohaya e Iwashita. Haviam sido convocados um mez depois de nós e tinham marchado para Hangchow de Shanghai. Tohaya era um sujeito grandalhão, de cara corada, que falava como se tivesse qualquer cousa na garganta. Disse que elles tinham encontrado muitos remanescentes chinezes mas que não tinham tomado parte em nenhuma batalha e que na maior parte, só tinham feito marchas difficeis. Disse que o grosso do nosso exercito avançava pelas estradas principaes e que os remanescentes chinezes se conservavam nas montanhas, de onde não se atreviam a sahir quando um forte contigente japonez estava á mão. "Só tinhamos fuzil, nenhuma metralhadora leve ou pesada, nem granada de mão e sem isso era muito solitario.

Continúa